

# 迎春

## 町劇場となり・人皆主役となる 町民と共に知恵を出し合うまちづくり

### 謹

んで年の初めのお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

町政を担当して以来、皆さま方の温かいご支援を唯一の力とし、「潤いと安らぎのあるまち」を目標に鋭意努力を続けて参りました。皆さまのお力添えに心から感謝申し上げます。

また、町民の絶大なご支援を賜り、九期連続当選を果たすことができ、このうえない喜びであり、初心を忘れることなく謙虚な心で今後とも町発展のため、一層の努力を続けて参る所存であります。地方自治体においては、税収不足や地方交付税の大幅な削減により、かつてない厳しい財政運営を余儀なくされておりますが、行財政改革を断行しながら、住民サー

ビス低下のないよう最小の経費で最大の効果をもたらす効率的な行政運営を進めております。

わが町は、「朝ごはん条例」を施行以来、家庭、学校、地域、行政が一体となって取り組んだ生活の改善や早寝早起き運動が認められ、「地域づくり総務大臣表彰」を受賞したほか、食生活改善推進員会が食育活動で東北農政局長賞ならびに厚生労働大臣表彰を受賞され、菖蒲川小学校が青森県食育コンクールで最優秀賞を受賞されております。また、県内外はもとより遠くは、四国、九州の議会議員による行政視察や全国のマスコミから取材を受けるなど、朝ごはん運動の先進地として評価を受けるに至りました。

これらは、ひとえに町民はじめ関係機関、団体が一体となり朝ごはん運動に取り組まれた賜であ

り、関係各位に対しまして、深く感謝申し上げます。

環境整備においては、これまで富士見湖パーク周辺に、町民のご協力をいただきながらソメイヨシノやヤエザクラなどおよそ一千六百本ほど植樹することができました。昨年五月には、町民の手づくりによる「第一回津軽富士見湖桜まつり」を開催いたしましたところ、予想以上の一万五千人の人数となり、成功裡に終えることができました。今後は、二千本を目標に桜の植樹を進めたいと考えています。今はまだ小さな桜であります。数年後には大輪となり桜花爛漫な「津軽富士見湖桜まつり」が開催できるものと期待しております。今後も地域資源を生かした観光開発をさらに進めて参りたいと考えております。

町の主産業である農業について

は、コメは消雪の遅れと低温で生育が遅れたものの、七月末からの好天で出穂、登熟も順調に進み作況指数は一〇二と平年を上回る状況であり、リンゴにおいては、開花や初期生育が遅れ、八月以降の好天に恵まれたものの果実肥大は平年を下回る状況でありました。引き続き農業後継者の育成はもとより、農業関係団体と連携しながら、農家所得の向上のためにさまざまな施策を展開し農業振興に努力して参ります。

公共事業では、役場通り線の全長百二十mを景観に配慮しながら拡幅整備をいたしました。幅員三mの歩道には、管内全小学校と中学校に募集したデザイン画（黒御影石）を配置したほか、ツルをかたどるカラーブロックを敷き詰め、車止めには、募集した朝ごはん運動や交通安全の標語を取り付





け、街路樹には桜を植樹しております。これにより、駅前通りと一連となった人に優しく安全で快適な道路が整備され、自然と調和した潤いある町並みが完成し、当町の町並み景観のシンボルになるものと期待しております。また、豪雪対策として融雪溝の整備をはじめ、公共下水道事業、農業集落排水事業が順調に進められており、

今後とも計画的に取り組んで参ります。国際交流においては、フットリバー市と姉妹都市を締結して今年で三十周年を迎えることから、四月には親善訪問団がフットリバー市を訪問し、これまで育まれた強い絆と友情の証として、姉妹都市締結三十周年記念碑をワコーマ公園に建立する運びとなっております。

す。今後も、「まちづくり」は「ひとつくり」を基本理念として、二十一世紀に対応できるひとつくりのため諸施策を展開して参ります。行政運営においては、「町劇場となり・人皆主役となる」この言葉を大切に、町民と共に知恵を出し合い、小さくともキラリと光る「潤いと安らぎのあるまち」実現

に向け努力を傾注して参る所存であり、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。終わりに、本年も町民の皆さまにとりまして幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

二〇〇七年 元旦

鶴田町長 中野賢司

# 新

年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

議長就任以来三年、各種の福祉対策はもとより、地域の振興をはじめ、町政の進展と議会の円滑な運営に微力をささげて参りました。この間、町民の皆さまから寄せられました温かいご指導やご厚情に対し心からお礼申し上げます。

昨年は、中央では景気の上向きが報じられておりますが、地方においてはまだまだ低迷している状況下であり、町民生活や町財政も誠に厳しい一年でありました。こ

うした中であって、農業を基幹産業とするわが町にとって、春から比較的好天に恵まれ農作物は順調に生育し、心配された台風など大きな被害もなく収穫を終えたことは喜ばしい限りであります。

今、町ではごはんを中心とした食生活への改善、地産地消などを盛り込んだ朝ごはん条例を制定し、健康長寿のまちづくりにより町民上げて取り組んでおります。この全国初の朝ごはん条例は各方面から注目されております。とくに議会

会においては、全国各地から十七団体の市町村議会議員が行政視察研修に訪れ、全国的にその評価が高まっているところであります。ご承知のように、三位一体の改

革により、行財政改革や地方分権が進められ、今まで経験したことのない時代に入っております。

国においては、地方交付税の算定見直し、道路特定財源の一般財源化など議論され、中央と地方の格差がますます拡大する懸念があります。当町にあっても基幹産業であります農業の振興発展をはじめ、商工業や観光の充実、住環境整備さらには教育環境や高齢化時代に向けての対応など課題は山積しております。

地方分権が進む中では、今までと違って地方自治体の自主性がますます求められ、市町村の真価が問われる時代になります。このため議会の果たす役割は非常に重要

になってきます。私たち議員も何が必要かの確に判断し、町との十分な意思疎通を図りながらその責務を果たして参りたいと思っております。

議会は住民の負託に応える重要な機関であることを認識し、鶴田町に住む喜びをかみしめることのできる魅力あるまちづくりのため、議員一丸となって誠心誠意努力して参る所存であります。本年も皆さまのご多幸とご発展をお祈り申し上げます、議会を代表して年頭のあいさつといたします。

二〇〇七年 元旦

鶴田町議会議長 當麻榮一